



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R4 CS通信No.8 R4.7.20



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

アスパラ畑(西海小)・鯨ヶ沢甚句流し踊り(小中高)・校内相撲大会(舞戸小)

7月6日(水)西海小3年生が、中村地区でアスパラを栽培している對馬さんの畑を訪ねました。

この学習は、地域学校協働活動推進員が連絡を取り、実現できた学習です。

子供たちは、教室で考えた質問をいっぱいして、對馬さんは、一つ一つ丁寧に答えていました。

「アスパラは一日にどのくらい伸びますか。」

という質問に対して、對馬さんは、

「気温が高ければ高いほど伸びます。今日ぐらい暑い時は、一日20cmくらい伸びます。」

と、答えていました。

「アスパラが取れる期間はいつですか。」

という質問に対しては、

「5月から9月まで取れます。冬は仕事がないから、アスパラの取れる期間にお金を稼ぎます。」

と、ユーモアたっぷりに答えていました。



7月10日(日)小中高合同で鯨ヶ沢甚句流し踊りが行われました。このイベントは、3年前から企画されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、毎年中止となっていました。

開会式では、平田衛町長から、

「明るいニュースを鯨ヶ沢から発信しよう。最後まで笑顔で踊ろう。」

と、児童・生徒を激励する挨拶がありました。

この後、児童生徒と保存会の方々合わせて約200名による流し踊りが披露され、沿道の保護者、地域の皆様から大きな拍手をいただきました。

この流し踊りを実施するにあたって、保存会の皆様方が、小学校の運動会練習や中学校の参観日でいろいろと指導してくださいました。

正に地域と学校が一体となった素晴らしいイベントとなりました。



7月15日(金)は、舞戸小学校の特色ある行事、校内相撲大会の日でした。この日は、学年別の個人トーナメント戦が行われ、優勝者を決めました。

1年生は、入学後初めての相撲大会でしたが、元気よく、最後まで粘り強く頑張っていました。

この相撲大会を実施するにあたっては、町相撲協会や五所川原農林高等学校相撲部の御協力をいただきました。朝早くからのまわしつけに加え、大会中の土俵整備、審判、司会・進行まで、たくさんの係・担当を引き受けてもらいました。

子供達の頑張りや、相撲大会に協力して下さるたくさんの方々の支えがあったことだと思います。心に残るすばらしい相撲大会でした。

